

領域12【白血病、悪性リンパ腫】などの血液・リンパのがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
第一三共株式会社	急性骨髄性白血病	2024年10月18日	JRCT2061240069	初発FLT3-ITD陰性急性骨髄性白血病成人患者を対象とした寛解導入療法・地固め療法とキザルチニブとの併用及びキザルチニブによる維持療法を検討する第III相、二重盲検、無作為化、プラセボ対照試験（QUANTUM-Wild）	3	キザルチニブ塩酸塩、シタラビン、シタラビン、シタラビン、ダウナルビシン塩酸塩、イダルビシン塩酸塩	初発 FLT3-ITD 陰性AML 被験者において主要評価項目であるOS に対するキザルチニブとプラセボ（標準的寛解導入療法及び地固め療法と併用投与後に、維持療法として最大 36 cycle 投与）の効果を比較する。	公開中
日本セルヴィエ株式会社	IDH1変異を有するメチル化阻害薬（HMA）未治療の骨髄異形成症候群（MDS）	2024年12月10日	JRCT2051240209	イソクエン酸デヒドロゲナーゼ1（IDH1）変異を有するメチル化阻害薬（HMA）未治療の骨髄異形成症候群（MDS）成人患者を対象としたイボシデニブ（IVO）単剤療法及びアザシチジン（AZA）の単剤療法の第III相、多施設共同、非盲検、無作為化、非比較2群試験（PyramIDH試験）	3	イボシデニブ	イソクエン酸デヒドロゲナーゼ1を有するメチル化阻害薬未治療の骨髄異形成症候群患者におけるイボシデニブ単剤療法の有効性を評価する。	公開中
中外製薬株式会社	未治療のFLIPI 2～5の濾胞性リンパ腫患者	2024年6月18日	JRCT2011240017	未治療のFLIPI 2～5の濾胞性リンパ腫患者を対象として Mosunetuzumab+レナリドミド併用療法の有効性及び安全性を抗 CD20抗体+化学療法併用療法と比較する第III相多施設共同ランダム化非盲検試験	3	RO7030816（mosunetuzumab）、レナリドミド、リツキシマブ（遺伝子組換え）、オビヌズマブ（遺伝子組換え）、シクロホスファミド水和物、ドキシゾリン塩酸塩、ビンクリスチン硫酸塩、プレドニゾン、プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム、ベンダムスチン塩酸塩水和物、トシズマブ（遺伝子組換え）	未治療のFLIPI2～5のリンパ腫患者を対象に、 mosunetuzumab+レナリドミド併用療法の有効性及び安全性を抗CD20mAb+化学療法併用療法と比較して評価する。試験群：導入療法期間にmosunetuzumabを投与する3週間のサイクルを1サイクル、その後mosunetuzumabとレナリドミドを併用投与する4週間のサイクルを11サイクルと維持療法期間にmosunetuzumabを投与する 8週間のサイクルを最大9サイクル投与する。対照群：導入療法期間に、抗CD20mAb（R（リツキシマブ）またはG（オビヌズマブ））+CHOP（シクロホスファミド、ドキシゾリン、ビンクリスチン、プレドニゾン）は3週間のサイクルを8サイクル、抗 CD20mAb+ベンダムスチンは4週間のサイクルを 6サイクルと維持療法期間に8週間のサイクルを最大12サイクル投与する。	公開中
ICONクニカリサーチ合同会社	大細胞型B細胞性リンパ腫、濾胞性リンパ腫	2023年9月27日	JRCT2033230370	製品規格外Axicabtagene Ciloleucelを用いた患者治療のための拡大アクセス試験（EAP）	3		添付文書に記載の既承認の適応症の診断を受けた成人被験者に、市販用規格外のaxicabtagene ciloleucelへのアクセスを提供し、安全性を評価する。	公開中
MSD株式会社	再発又は難治性のB細胞腫瘍	2023年7月11日	JRCT2011230019	B 細胞悪性腫瘍患者を対象としたMK-2140の単独療法及び併用療法を評価するMK-2140-006/バスケット試験	2	Zilovertamab Vedotin	中悪性度及び低悪性度B細胞悪性腫瘍を有する患者を対象としたMK-2140の単独療法及び併用療法の安全性及び有効性を評価する。	公開中
アッヴィ合同会社	多発性骨髄腫	2022年9月16日	JRCT2021220022	再発又は難治性の多発性骨髄腫：薬物治療レジメンを併用した ABBV-383 の用量漸増及び用量拡大[M22-947]	1	ABBV-383	再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象にボマリドミド-デキサメタゾン（Pd）、レナリドミド-デキサメタゾン（Rd）、ダラツムマブ-デキサメタゾン（Dd）又はNirogacestat と併用したときのABBV-383の安全性及び毒性プロファイルを明らかにする。	公開中
アッヴィ合同会社	血液がん	2023年7月21日	JRCT2031230249	B細胞性悪性腫瘍患者を対象としたBTK 分解誘導化合物ABBV-101 の安全性、薬物動態、及び予備的有効性を評価するヒト初回投与試験[M23-647]	1	ABBV-101	・ABBV-101 の安全性を明らかにし、忍容性を確認する ・ABBV-101 の経口投与後の薬物動態（PK）を評価する ・再発又は難治性（R/R） B 細胞性非ホジキンリンパ腫（NHL）の治験参加者の特定のサブセットを対象に、疾患別の治療効果判定基準の定義を用いて、ABBV-101 の予備的有効性を評価する	公開中
アムジェン株式会社	新たに診断されたフィラデルフィア染色体（Ph）陰性B前駆細胞性急性リンパ芽球性白血病（ALL）	2022年2月10日	JRCT2051210174	フィラデルフィア染色体陰性B前駆細胞性急性リンパ芽球性白血病と新規に診断された高齢成人を対象とした、プリナツモマブと低強度化学療法の交互投与と標準治療化学療法を比較する試験	3	プリナツモマブ（遺伝子組換え）	本試験のSafety run-inパートの目的はプリナツモマブと低強度化学療法の交互投与の安全性及び忍容性を評価することである。本試験の第III相の目的は、プリナツモマブと低強度化学療法を交互に受けた被験者の無イベント生存期間（EFS）及び全生存期間（OS）と標準治療（SOC）化学療法を受けた被験者のEFS及びOSを比較することである。	公開中
インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社	骨髄線維症、骨髄異形成症候群、骨髄異形成症候群／骨髄増殖性腫瘍	2022年4月8日	JRCT2041220002	骨髄線維症及びその他の進行性骨髄系腫瘍患者を対象とした INCB057643の第1相、非盲検、安全性及び忍容性試験	1	INCB057643：なし、ルキソリチニブ：ルキソリチニブリン酸塩	治療 Treatment	公開中
インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社	非ホジキンリンパ腫（びまん性大細胞型B細胞リンパ腫）	2021年2月12日	JRCT2031200357	非ホジキンリンパ腫を有する日本人患者を対象に、Tafasitamab単剤療法、Tafasitamabとレナリドミドの併用療法、TafasitamabとParsaclisibの併用療法及びTafasitamabとレナリドミドとR-CHOPの併用療法を検討する第1b/2相試験	1-2	Tafasitamab	日本人の非ホジキンリンパ腫（NHL）患者を対象に、Tafasitamabを単剤投与又は他の薬剤と併用投与したときの安全性及び忍容性を評価する。To Assess the Safety and Tolerability of Tafasitamab Alone or in Combination With Other Drugs in Japanese Participants With Non-Hodgkins Lymphoma（NHL）	公開中
グラクソ・スミスクライン株式会社	多発性骨髄腫	2022年2月15日	JRCT2031210607	再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としたベランタマブ マホドチンの拡大治療	N/A	belantamab mafodotin	既存の治療法でベネフィットが得られず、進行中又は実施予定の本剤の臨床試験に適格でなく、かつ適切な代替治療の選択肢がないRRMM患者に対し、日本で本剤が製造販売承認され、上市される前に本剤による治療機会を提供できるようにするとともに、安全性及び有効性を評価すること	公開中
グラクソ・スミスクライン株式会社	多発性骨髄腫	2023年7月7日	JRCT2051230065	多発性骨髄腫の治療として belantamab の単剤療法及び併用療法の安全性及び有効性を検討する試験	1-2	Belantamab	パート 1：3ライン以上の前治療を受けた再発・難治性多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象としてbelantamab単剤の安全性、忍容性及び有効性を評価し、パート2推奨用量を決定する。 パート 2：1ライン以上の前治療を受けたRRMM患者を対象として ベランタマブ マホドチン、併用薬剤x、レナリドミド及びデキサメタゾンの併用療法（ベランタマブ マホドチン-xRd）を1サイクル投与した後に実施するbelantamab、併用薬剤x、レナリドミド及びデキサメタゾンの併用療法（bela-xRd）の安全性、忍容性及び有効性を評価する。 パート 3：移植非適応の新規診断患者を対象としてベランタマブ マホドチン-xRd を1サイクル投与した後に実施するbela-xRdの安全性及び有効性を評価する。	公開中
ノバルティスファーマ株式会社	慢性期のフィラデルフィア染色体陽性慢性骨髄性白血病	2022年2月1日	JRCT2031210591	慢性骨髄性白血病の小児患者を対象にアシニニブの用量を決定し、安全性を評価する試験	1-2	アシニニブ	成人患者への40 mg 1 日2 回（空腹時）投与時と同等のアシニニブ曝露量が得られる小児用製剤の用量（食後）を特定することを目標として、小児患者におけるアシニニブの薬物動態（PK）プロファイルを検討することである。	公開中
ファイザーR&D合同会社	移植後の初発多発性骨髄腫	2022年5月11日	JRCT2031220060	移植後の初発多発性骨髄腫患者を対象としてエルラナタマブをレナリドミドと比較する第3相試験	3	PF-06863135	自家造血幹細胞移植後に初発多発性骨髄腫患者を対象として、PF-06863135の単剤投与がレナリドミド単剤投与（対照）と比較して臨床的ベネフィットをもたらすかどうかを検討する	公開中
ファイザーR&D合同会社	多発性骨髄腫	2022年12月26日	JRCT2021220036	MAGNETISMM-6：移植非適応の初発多発性骨髄腫患者を対象としてエルラナタマブ（PF-06863135）とダラツムマブおよびレナリドミドの併用投与の有効性及び安全性をダラツムマブ、レナリドミドおよびデキサメタゾンの併用投与と比較する非盲検、2 群、多施設共同、無作為化、第 3 相試験	3	PF-06863135	本試験のパート 1 では多発性骨髄腫（MM）患者を対象として、エルラナタマブとダラツムマブおよびレナリドミド（EDR）の併用投与の安全性、忍容性、PK、PD および予備的有効性を評価し、第 3 相試験の推奨用量（RP3D）を決定する。パート 2 では、移植非適応の初発 MM 患者を対象として、無作為化後 12 ヶ月時点の MRD 陰性率および PFS により EDR の併用投与群とダラツムマブ、レナリドミドおよびデキサメタゾン（DRd）の併用投与群の有効性を比較する。	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	多発性骨髄腫	2023年7月13日	JRCT2031230223	新たに診断された多発性骨髄腫患者を対象とした自家幹細胞移植後のiberdomide維持療法とレナリドミド維持療法の比較試験	3	Iberdomide、レナリドミド	新たに診断された多発性骨髄腫（NDMM）患者を対象として、自家幹細胞移植（ASCT）後のレナリドミド維持療法に対するIberdomide維持療法の有効性を比較する	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	再発又は難治性の大細胞型B細胞リンパ腫	2021年3月26日	JRCT2053200162	製品規格に適合しないIsocabtagene maraleucelを被験者に投与する拡大アクセス試験（EAP）	3	リソカブタゲン マラルユーセル	本試験の主要目的は、不適合isocabtagene maraleucelの安全性を評価することである。	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	再発又は難治性のT細胞リンパ腫	2023年9月27日	JRCT2061230061	再発又は難治性のT細胞リンパ腫患者を対象としたBMS-986369の安全性、忍容性、薬物動態及び有効性を検討する国内第1/2相試験	1-2	BMS-986369	本試験の目的は再発又は難治性のT細胞リンパ腫患者を対象としたBMS-986369の投与量における安全性、忍容性及び有効性を検討することである。	公開中
住友ファーマ株式会社	骨髄線維症	2021年12月17日	JRCT2031210490	骨髄線維症患者を対象としたTP-3654の試験	1-2	TP-3654	中間又は高リスクの原発性又は二次性骨髄線維症患者を対象にTP-3654を経口投与した時の安全性、薬物動態、及び薬力学を評価する	公開中

領域12[白血病、悪性リンパ腫]などの血液・リンパのがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
住友ファーマ株式会社	Phase1 :急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病又は系統不明の急性白血病 Phase2: 急性骨髄性白血病	2022年2月5日	JRCT2031210594	成人急性白血病患者を対象としたDSP-5336の臨床試験	1-2	DSP-5336	MLLr又はNPM1mが陽性又は陰性の成人急性白血病患者を対象にDSP-5336を経口投与したときの安全性、PK、薬力学的作用及び臨床効果を検討する。	公開中
大原薬品工業株式会社	再発又は難治性若しくは標準治療に不耐容のMDS又はCMML患者	2022年8月4日	JRCT2071220035	再発又は難治性の高リスク骨髄異形成症候群及び高リスク慢性骨髄単球性白血病に対するOP-2100の第I相臨床試験	1	OP-2100	主目的 再発又は難治性の高リスクMDS及び高リスクCMMLに対してOP-2100を経口投与した時のMTDを検討する。 副次目的 再発又は難治性の高リスクMDS及び高リスクCMMLに対してOP-2100を経口投与した時の安全性、薬物動態及び有効性を評価する。	公開中
大塚製薬株式会社	骨髄異形成症候群	2020年11月10日	JRCT2021200025	骨髄異形成症候群患者を対象としたASTX030の第I相試験	1	ASTX030	・アザシチジン（AZA）注75 mg/m ² と同程度のAZAの総AUCが得られるAZA経口投与製剤及びcedazuridine（CED）錠の用量を検討する。	公開中
大塚製薬株式会社	多発性骨髄腫	2020年12月25日	JRCT2033200278	MMG49 抗原陽性の再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象に OPC-415 の安全性及び有効性を検討する、多施設共同、非対照、非無作為化、非盲検、第 I/II 相試験	1-2	OPC-415	【第 I 相部分】 • 骨髄腫細胞特異的抗体（MMG49）抗原陽性の再発・難治性のMM 患者を対象にOPC-415の忍容性及び安全性を評価する。 • 第 II 相部分で投与する OPC-415 投与細胞数を決定する。 【第 II 相部分】 • MMG49 抗原陽性の再発・難治性の MM 患者を対象に第 I 相部分で決定した OPC-415 投与細胞数での有効性及び安全性を評価する。	公開中
日本新薬株式会社	急性骨髄性白血病	2021年11月26日	JRCT2031210452	再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者を対象としたNS-917の臨床第I相試験	1		治療	公開中
アストラゼネカ株式会社	造血器腫瘍	2024年2月15日	JRCT2051230181	CD123陽性造血器腫瘍患者を対象にAZD9829を単剤療法又は併用療法として投与したときの安全性、忍容性、薬物動態及び予備的な抗腫瘍活性を評価するモジュール型第I/II相非盲検多施設共同試験	1-2	AZD9829	Treatment	公開中
MSD株式会社	慢性リンパ性白血病／小リンパ球性リンパ腫	2024年3月13日	JRCT2031230697	慢性リンパ性白血病／小リンパ球性リンパ腫に対する一次治療としてMK-1026と対照薬（治験担当医師が選択したイブルチニブ又はアカラルチニブ）を比較する第Ⅲ相試験	3	MK-1026/Nemtabrutinib、イブルチニブ、アカラルチニブ	未治療の慢性リンパ性白血病（CLL）／小リンパ球性リンパ腫患者（SLL）を有する18歳以上の患者を対象にMK-1026の有効性及び安全性をイブルチニブ又はアカラルチニブと比較する。	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）	2023年12月4日	JRCT2071230097	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象に Mezigdomide（CC-92480）、ホルテゾミブ及びデキサメタゾン（MEZIVD）とボマリドミド、ホルテゾミブ及びデキサメタゾン（PVD）を比較する第3相、2ステージ、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験：SUCCESSOR-1	3	Mezigdomide（CC-92480/BMS-986348）、ボマリドミド、ホルテゾミブ、デキサメタゾン	再発又は難治性多発性骨髄腫（RRMM）被験者を対象にmezigdomide（CC-92480）、ホルテゾミブ及びデキサメタゾン（MeziVd）とボマリドミド、ホルテゾミブ及びデキサメタゾン（Pvd）の無増悪生存期間（PFS）を比較する。	公開中
ファイザーR&D合同会社	再発または難治性多発性骨髄腫	2024年1月26日	JRCT2021230055	CD38 を標的とする前治療を受けた再発／難治性多発性骨髄腫患者を対象とした、エルラナタマブ単剤投与とエロツズマブ、ボマリドミドおよびデキサメタゾン（EPd）、ボマリドミド、ホルテゾミブおよびデキサメタゾン（Pvd）、またはカルフィルゾミブおよびデキサメタゾン（Kd）を比較する非盲検、第3相試験（治験実施計画書番号：C1071032）	3	エルラナタマブ	再発または難治性多発性骨髄腫患者を対象に、エルラナタマブ単剤投与の有効性、安全性等を標準療法と比較する。	公開中
アムジェン株式会社	進行固形癌	2024年5月24日	JRCT2031240106	進行固形癌患者を対象としたAMG 355の単剤投与及びベムプロリスマブとの併用投与の安全性、忍容性、薬物動態及び有効性を評価する第I相ヒト初回投与試験	1	AMG 355	本試験の主要目的は以下のとおりである。 - 進行固形がん患者を対象にAMG 355の単剤療法及びベムプロリスマブとの併用療法の安全性及び忍容性を評価する。 - 進行固形がん患者を対象にAMG 355の単剤療法及びベムプロリスマブとの併用療法の第II相推奨用量及び最大用量を決定する。	公開中
アストラゼネカ株式会社	再発又は難治性の多発性骨髄腫	2024年4月3日	JRCT2041240003	再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象に、AZD0305を単剤療法又は抗がん剤との併用療法として投与したときの安全性、忍容性、薬物動態、免疫原性、薬力学、及び予備的な有効性を評価するモジュール型第I/II相非盲検多施設共同試験	1-2	AZD0305	Treatment	公開中
アプヴィ合同会社	多発性骨髄腫	2024年6月10日	JRCT2071240020	再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象としたABBV-383 と利用可能な標準療法を比較する第III 相多施設共同ランダム化非盲検試験（3L+再発又は難治性の多発性骨髄腫単剤療法試験）[M22-574]	3	ABBV-383	再発/難治性多発性骨髄腫患者を対象としてABBV-383と利用可能な標準療法を比較評価する。	公開中
アプヴィ合同会社	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	2024年8月29日	JRCT2031240247	再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫を対象として、エポコリタマブの皮下投与とレナリドミドの経口投与の併用を、リツキシマブ、ゲムシタピンおよびオキサリプラチンの静脈内投与と比較する試験（EPCORE DLBCL-4）	3	エポコリタマブ	エポコリタマブ+レナリドミド（E-Len）の安全性及び有効性をリツキシマブ+ゲムシタピンおよびオキサリプラチン（R-Gemox）と比較し評価する	公開中
インサイト・バイサイエンス・ジャパン合同会社	骨髄増殖性腫瘍	2023年10月31日	JRCT2031230426	骨髄増殖性腫瘍患者を対象としたINCA033989単剤療法又はルキソリチニブとの併用療法の第1相、非盲検、多施設共同試験	1	INCA033989	治療 Treatment	公開中
ファイザーR&D合同会社	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	2023年7月19日	JRCT2071230043	再発または難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者に Maplirpaccept（PF-07901801）およびGlofitamabを併用投与したときの効果について検討する試験	1-2	PF-07901801	再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象にオビツズマブの単回投与後にmaplirpaccept（PF-07901801）をglofitamabと併用投与したときの効果を評価する	公開中
プリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	大細胞型B細胞リンパ腫	2024年6月28日	JRCT2031240194	未治療の高リスク大細胞型B 細胞リンパ腫患者を対象にした Golcadomide + R-CHOP の有効性及び安全性をプラセボ+ R-CHOP と比較する第3 相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験（GOLSEEK-1）	3	Golcadomide（BMS-986369/CC-99282）、リツキシマブ（遺伝子組換え）、シクロホスファミド水和物、ドキシソリン塩酸塩、ビンクリスチン硫酸塩、プレドニゾン	未治療の高リスク大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象に、golcadomide + R-CHOPの有効性をプラセボ + R-CHOPと比較評価する。	公開中

領域12【白血病、悪性リンパ腫】などの血液・リンパのがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
Bristol-Myers Squibb株式会社	多発性骨髄腫	2023年11月25日	JRCT2071230095	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象に Mezigdomide（CC-92480/BMS-986348）、カルフィルゾミブ及びデキサメタゾン（MeziKd）とカルフィルゾミブ及びデキサメタゾン（Kd）を比較する第3相、2ステージ、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験：SUCCESSOR-2	3	Mezigdomide（CC-92480/BMS-986348）、カルフィルゾミブ、デキサメタゾン、デキサメタゾン	再発又は難治性多発性骨髄腫（RRMM）治験参加者を対象にmezigdomide、カルフィルゾミブ及びデキサメタゾン（MeziKd）とカルフィルゾミブ及びデキサメタゾン（Kd）の無増悪生存期間（PFS）を比較すること	公開中
小野薬品工業株式会社	中枢神経系原発リンパ腫	2024年3月14日	JRCT2071230124	ONO-4059-13:未治療の中枢神経系原発リンパ腫（PCNSL）を対象としたONO-4059 とリツキシマブ、メトレキサート、プロカルバジン及びビンクリスチン（R-MPV）療法の併用投与による多施設共同第1相非盲検非対照試験	1	チラブルチニブ塩酸塩	未治療PCNSL患者を対象にONO-4059 とR-MPV 療法を併用投与したときの忍容性及び安全性を確認する。	公開中
小野薬品工業株式会社	再発又は難治性のT細胞リンパ腫及び慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫	2023年11月19日	JRCT2011230051	ONO-4685-05：再発又は難治性のT細胞リンパ腫及び慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫患者を対象としたONO-4685 の単剤投与の忍容性及び安全性を評価する第1相非盲検非対照用量漸増試験	1	ONO-4685	再発又は難治性のT細胞リンパ腫及びCLL/SLL患者を対象に、ONO-4685の単剤投与における忍容性及び安全性を評価する。	公開中
中外製薬株式会社	未治療の大細胞型B細胞リンパ腫患者	2024年2月27日	JRCT2051230190	未治療の大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象としてGLOFITAMAB（RO7082859）+ ポラズマブ ベドチン + リツキシマブ + シクロホスファミド + ドキソビジン + プレドニゾン（POLA-R-CHP）併用療法の有効性及び安全性を POLA-R-CHPと比較する第III相多施設共同ランダム化非盲検試験	3	RO7082859（glofitamab）、ボラズマブ ベドチン（遺伝子組換え）、リツキシマブ（遺伝子組換え）、シクロホスファミド水和物、ドキソビジン塩酸塩、プレドニゾン、メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	本試験は、未治療のCD20陽性LBCL患者を対象として、Glofitamabと Pola-R-CHPの併用療法の有効性及び安全性を Pola-R-CHPと比較して評価する。 A群：Glofitamabと Pola-R-CHPの併用療法 B群：Pola-R-CHP	公開中
アッヴィ合同会社	濾胞性リンパ腫	2024年7月14日	JRCT2071240034	未治療の濾胞性リンパ腫を対象として、エプロリタマブとリツキシマブ + レナリドミド（R2）療法の安全性及び有効性を免疫化学療法と比較する第III相、多施設共同、無作為化、非盲検試験（EPCORE™FL-2）[M22-003]	3	エプロリタマブ	エプロリタマブとリツキシマブ + レナリドミド（R2）療法の安全性及び有効性を免疫化学療法と比較する	公開中
アッヴィ合同会社	多発性骨髄腫	2024年7月17日	JRCT2041240056	再発性又は難治性多発性骨髄腫患者を対象にABBV-383を皮下投与する多施設共同、第1b相、非盲検試験[M23-001]	1	ABBV-383	再発又は難治性（R/R）MMの成人患者を対象にABBV-383の安全性及び薬物動態を検討する。	公開中
グラクソ・スミスクライン株式会社	多発性骨髄腫	2024年12月11日	JRCT2031240542	自家造血幹細胞移植非適応の初発多発性骨髄腫患者を対象としてベランタマブ マホドチンとレナリドミド及びデキサメタゾンの併用療法をダラツマブとレナリドミド及びデキサメタゾンの併用療法と比較検討する非盲検無作為化第III相試験	3	ダラツマブ、レナリドミド、デキサメタゾン	自家造血幹細胞移植非適応の初発多発性骨髄腫を対象にGSK2857916、レナリドミド及びデキサメタゾンを併用投与したときの無増悪生存期間の延長、微小残存病変の陰性を、ダラツマブ、レナリドミド及びデキサメタゾンの併用投与と比較検討すること The purpose of this Phase 3 study is to evaluate if BRd prolongs progression free survival (PFS) and/or improves minimal residual disease (MRD) negative status compared with DRd in participants with TI-NDMM.	公開中
アストラゼネカ株式会社	未治療の濾胞性リンパ腫	2024年11月21日	JRCT2031240501	未治療の濾胞性リンパ腫患者を対象として、AZD0486 とリツキシマブの併用療法の有効性及び安全性を化学療法とリツキシマブの併用療法と比較する第III相、多施設共同、無作為化、非盲検試験（SOUNDTRACK-F1）	3	AZD0486	Treatment	公開中
アムジェン株式会社	B前駆細胞性急性リンパ芽球性白血病	2024年12月11日	JRCT2021240043	フィラデルフィア染色体陰性B前駆細胞性急性リンパ芽球性白血病（B-ALL）と新規に診断された日本人成人患者を対象とした、プリナツモマブを静脈内投与したときの安全性、忍容性及び薬物動態を検討する第Ib相非盲検試験	1	プリナツモマブ（遺伝子組換え）	本試験の主目的はB-ALLと新規に診断された日本人成人被験者におけるプリナツモマブの安全性及び忍容性を評価することである。	公開中
MSD株式会社	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	2024年12月25日	JRCT2061240099	未治療のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者を対象に MK-2140と R-CHP の併用療法と R-CHOP を比較する第III相、無作為化、非盲検、多施設共同試験（waveLINE-010試験）	3	MK-2140、リツキシマブ（遺伝子組換え）、シクロホスファミド水和物、プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム、ビンクリスチン硫酸塩、ドキソビジン塩酸塩	未治療のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者を対象に MK-2140とR-CHPの併用療法とR-CHOPの有効性及び安全性を比較する。	公開中
シンバイ製薬株式会社	ENKLを含む再発又は難治性のリンパ腫	2024年12月24日	JRCT2061240096	再発又は難治性のリンパ腫患者を対象としたBrincidofovir静脈内投与の安全性、忍容性、薬物動態及び予備的な有効性、並びに第II相推奨用量を用いて再発又は難治性の節外性NK/T細胞リンパ腫患者を対象としたBrincidofovir静脈内投与の安全性及び有効性を評価する多施設国際共同、非盲検、第1b/II相臨床試験（BCV-NL01）	1-2	プリンシドフォビル（Brincidofovir, SyB V-1901）	主要目的：第Ib相パート（用量漸増パート）・再発又は難治性のリンパ腫患者を対象に、Brincidofovir（SyB V-1901, BCV）の安全性、忍容性、用量制限毒性（DLT）、最大耐用量（MTD）/第II相推奨用量（RP2D）、薬物動態（PK）及び予備的な有効性を明らかにする。第II相パート（拡大パート）・再発又は難治性の節外性NK/T細胞リンパ腫（ENKL）患者を対象に、RP2DでのBCVの安全性及び有効性（最良総合効果）を評価する。	公開中
アストラゼネカ株式会社	B細胞性悪性腫瘍	2024年10月22日	JRCT2031240426	再発又は難治性のB細胞性悪性腫瘍患者を対象に、CD20を標的とするT細胞誘導抗体AZD5492の安全性、薬物動態、薬力学、及び有効性を評価するモジュール第I/II相非盲検用量漸増及び規模拡大試験	1-2	AZD5492	Treatment	公開中
協和キリン株式会社	再発又は難治性の急性骨髄性白血病	2024年4月21日	JRCT2011240008	再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者を対象としたKK2845の多施設共同、非対照、非盲検、非ランダム化、用量漸増試験からなる第I相臨床試験	1	KK2845	本試験はPart 1（Dose escalation）及びPart 2（Backfill）から構成される。再発又は難治性のAML患者を対象として、Part 1ではKK2845の忍容性を評価することによりMTDを決定し、Part 2では忍容性の確認できた用量にてKK2845を投与した際の追加データを収集する。	公開中
アムジェン株式会社	B前駆細胞性急性リンパ芽球性白血病	2023年4月2日	JRCT2031230003	急性リンパ性白血病（ALL）患者を対象とした、プリナツモマブの皮下投与を検討する試験	1-2	プリナツモマブ	本試験の目的は、急性リンパ性白血病（ALL）の治療を目的としてプリナツモマブを皮下投与（SC）したときの安全性、有効性及び忍容性を評価し、プリナツモマブを皮下投与したときの最大耐量（MTD）及び予備的な、第II相試験における推奨用量（RP2D）を決定することである。	終了
アッヴィ合同会社	急性骨髄性白血病	2023年11月25日	JRCT2021230042	急性骨髄性白血病（AML）の成人患者を対象としたABBV-787の安全性、薬物動態及び有効性を評価するト初回投与第I相試験[M23-477]	1	ABBV-787	R / R AML の患者を対象にABBV-787 単剤投与の安全性及び忍容性を評価する R / R AML の患者を対象にABBV-787 単剤投与のMTD を決定する R / R AML の患者を対象にABBV-787 単剤投与によるPK 特性を評価する R / R AML の患者を対象にABBV-787 単剤投与の有効性（必要に応じて）を評価する	終了
Bristol-Myers Squibb株式会社	多発性骨髄腫	2023年12月24日	JRCT2061230084	自家幹細胞移植後の奏効が不十分な初発多発性骨髄腫（NDMM）成人患者を対象とした、idecabtagene vicleucel（ide-cel）+ レナリドミド（LEN）維持療法の有効性及び安全性をレナリドミド単独維持療法と比較するランダム化オープンラベル第3相試験（KarMMa-9）	3	レナリドミド	自家幹細胞移植後の奏効が不十分なNDMM成人患者を対象に、ide-cel + LEN維持療法の有効性及び安全性をLEN単独維持療法と比較する	終了
インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社	貧血、本態性血小板血症から移行した骨髄線維症、真性多血症から移行した骨髄線維症	2021年11月24日	JRCT2031210445	骨髄増殖性疾患による貧血患者を対象としたINCB000928の単剤療法又はルキリチニブとの併用療法の第1/2相、非盲検、多施設共同試験	1-2	INCB000928（未承認）、ルキリチニブ（承認内）	治療 Treatment	終了

領域12【白血病、悪性リンパ腫】などの血液・リンパのがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
ジェンマブ株式会社	B細胞性非ホジキンリンパ腫	2020年8月13日	jRCT2080225312	日本人R/R B NHL患者を対象とするepcoritamabの安全性及び有効性試験	1-2	GEN3013（DuoBody-CD3×CD20）	本試験は、日本人再発、進行性又は難治性B細胞性リンパ腫患者、及び前治療のSOC後に部分奏効（PR）又は完全奏効（CR）を達成した日本人B細胞性リンパ腫患者を対象とするepcoritamabの安全性及び予備的有効性を検討する非盲検、多施設共同試験である。本試験は2つのパートから構成される。パート1：用量漸増（phase 1）、パート2：拡大（phase 2） 本試験の用量漸増パートの目的は、日本人再発、進行性又は難治性B細胞性リンパ腫患者、及び部分奏効（PR）又は完全奏効（CR）を達成した日本人B細胞性リンパ腫患者を対象とし、epcoritamabの最大耐量（MTD）及び第2相試験推奨用量（PR2D）を決定し、安全性プロファイルを確認することである。 本試験の拡大パートでは、さらに他の患者にepcoritamabのRP2Dを投与する。本パートの目的は、epcoritamabの安全性及び予備的有効性を更に探索し決定することである。 パート1でPR2Dを決定後、パート2の試験を開始する。パート2では、epcoritamabは単剤療法及び他の標準治療（SOC）薬との併用で調査する。	終了
Bristol・マイヤーズスクイブ株式会社	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）	2021年7月1日	jRCT2051210043	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象にiberdomide、ダラムマブ（遺伝子組換え）（IberDd）とダラムマブ、ボルテゾミブ、及びデキサメタゾン（Dvd）を比較する第3相、第2ステージ、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験（EXCALIBER-RRMM）	3	iberdomide、ダラムマブ（遺伝子組換え）・ボルヒアルロニターゼ アルファ（遺伝子組換え）、ボルテゾミブ、デキサメタゾン	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象に無増悪生存期間（PFS）についてiberdomide、ダラムマブ及びデキサメタゾン（IberDd）の有効性をダラムマブ、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン（Dvd）と比較すること。	終了
Bristol・マイヤーズスクイブ株式会社	再発及び難治性の多発性骨髄腫	2023年10月4日	jRCT2051230108	再発及び難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたBCMA x CD3 T細胞活性化抗体CC-93269の第1相オープンラベル用量設定試験	1	CC-93269	再発及び難治性の多発性骨髄腫の被験者でのCC-93269の安全性及び忍容性を評価する。	終了
中外製薬株式会社	発症性骨髄腫	2024年2月27日	jRCT2031230660	再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした、単剤療法としてのCevostamab及びCevostamab+ボマリドミド+デキサメタゾン又はCevostamab+ダラムマブ+デキサメタゾンの安全性、薬物動態及び抗腫瘍活性を評価する、非盲検、多施設共同、第1b相試験（CAMMA 1）	1	cevostamab、Tocilizumab、Pomalidomide、Dexamethasone	本試験は、再発または難治性の多発性骨髄腫（R/R MM）患者を対象に、Cevostamab単剤療法、Cevostamabとボマリドミドおよびデキサメタゾンの併用療法（Pd療法）、またはCevostamabとダラムマブおよびデキサメタゾンの併用療法（Dd療法）における、安全性、忍容性、薬物動態、薬力学を評価する第1b相多施設共同非盲検試験である。 日本ではPd療法のみ実施する。スクリーニング検査の後に、Pd療法の2群あるうちのどちらか一方に参加する。2つの群の違いは、Cevostamabの目標用量が異なる点である	終了
アヅビ合同会社	濾胞性リンパ腫	2023年9月14日	jRCT2021230024	再発又は難治性の濾胞性リンパ腫被験者を対象として、エプロリタマブとリツキシマブ+レナリドミド（R2）療法を併用投与したときの安全性及び有効性をR2療法と比較評価する第III相非盲検試験（EPCORE™ FL-1）[M20-638]	3	エプロリタマブ	本試験では、R/R FL被験者を対象として、レナリドミドとリツキシマブの併用療法（R2）療法とエプロリタマブとの併用療法の有効性、安全性を評価する。	終了
ノバルティスファーマ株式会社	低リスク骨髄異形成症候群	2021年4月26日	jRCT2021210004	血小板輸血依存の低リスク骨髄異形成症候群成人患者を対象としたエルトロンボバグのプラセボ対照試験	2	エルトロンボバグ オラミン	血小板輸血依存の低リスクMDS患者を対象として、エルトロンボバグ単剤療法の有効性及び安全性を評価する	終了
ファイザーR&D合同会社	再生または難治性多発性骨髄腫	2021年11月2日	jRCT2041210098	再発/難治性多発性骨髄腫患者を対象としてPF-06863135単剤投与およびPF-06863135とダラムマブ併用投与をダラムマブ、ボマリドミドおよびデキサメタゾン併用投与と比較する第3相試験	3	PF-06863135	本試験のパート1ではPF-06863135プライミング投与の安全性を評価し、本試験のパート2でダラムマブと併用投与するPF-06863135の第3相試験の推奨用量を決定する。本試験のパート2では、レナリドミドおよびプロテアソーム阻害剤を含む2ライン以上の前治療歴を有する再発または難治性多発性骨髄腫患者を対象として、PF-06863135単剤投与およびPF-06863135+ダラムマブ併用投与が対照治療（ダラムマブ+ボマリドミド+デキサメタゾン）に比べて優れた臨床的ベネフィットをもたらすかどうかを検討する。	終了
ファイザーR&D合同会社	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	2023年6月19日	jRCT2031230151	再発または難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者にMaplirpacept（PF-07901801）、Tafasitamab およびレナリドミドを併用投与したときの効果	2	PF-07901801	再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象にmaplirpacept（PF-07901801）を tafasitamab およびレナリドミドと併用投与したときの効果を評価する	終了
Bristol・マイヤーズスクイブ株式会社	骨髄線維症に伴う貧血	2021年1月15日	jRCT2071200083	赤血球輸血を必要とする、JAK2阻害剤を投与中の骨髄増殖性腫瘍関連骨髄線維症患者を対象に、Luspatercept（ACE-536）の有効性及び安全性をプラセボと比較する、第3相二重盲検ランダム化試験	3	luspatercept	本試験の主要目的は、赤血球（RBC）輸血を必要とする、ヤヌスキナーゼ2（JAK2）阻害剤を投与中の骨髄増殖性腫瘍（MPN）関連骨髄線維症（MF）患者を対象に、貧血の治療としてluspaterceptの有効性をプラセボと比較して評価することである。	終了
グラクソ・スミスクライン株式会社	再発・難治性多発性骨髄腫	2022年2月1日	jRCT2011210067	再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としてbelantamab mafodotinとボマリドミド及びデキサメタゾンとの併用療法を、ボマリドミドとボルテゾミブ及びデキサメタゾンとの併用療法と比較検討する第III相試験（DREAMM 8）	3	Belantamab mafodotin	本試験の目的は、再発・難治性多発性骨髄腫の患者を対象とし、ベランタマブ マホドチンをボマリドミド及びデキサメタゾンと併用投与した際の有効性及び安全性を、ボマリドミド、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用投与した場合と比較評価する	終了
サノフィ株式会社	再発性の多発性骨髄腫	2022年10月29日	jRCT2031220425	RRMMを対象としたボマリドミド・デキサメタゾン併用でのイサツキシマブのIV（静脈内投与）とSC（皮下投与）の比較	3	イサツキシマブ、デキサメタゾン、ボマリドミド	本試験は、レナリドミド及びPIを含む1レジメン以上の前治療歴を有するRRMM患者（被験者）を対象に、ボマリドミド及びデキサメタゾン（IsaPd）と併用したときのイサツキシマブ静脈内投与（IV）に対する皮下投与（SC）を検討するランダム化、多施設共同、第III相、非盲検試験である。適格な被験者を2つの群のうちの1つに1：1の比でランダムに割り付ける。 - SC群：イサツキシマブSC+ボマリドミド及びデキサメタゾン併用（Pd） - IV群：イサツキシマブIV+ボマリドミド及びデキサメタゾン併用（Pd） 疾患進行、許容できない有害事象（AE）、被験者からの投与中止要請、又はその他の理由のいずれか早い方まで被験者に対する投与を継続できる。	終了
IQVIAサービシーズジャパン合同会社	慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫	2021年8月24日	jRCT2021210031	慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫を対象としたLOXO-305の第3相試験	3	LOXO-305	前治療歴がある慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫患者を対象としてLOXO-305の有効性及び安全性を検討する	終了
IQVIAサービシーズジャパン合同会社	慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫	2022年1月8日	jRCT2011210061	慢性リンパ性白血病及び小リンパ球性リンパ腫患者を対象としたLOXO-305併用投与の第3相試験	3	LOXO-305	LOXO-305とベネトクラクス及びリツキシマブ（A群）のPFSをベネトクラクス及びリツキシマブ（B群）と比較して評価する。	終了
Meiji Seika ファルマ株式会社	B細胞非ホジキンリンパ腫	2022年1月19日	jRCT2041210129	再発又は難治性（R/R）B細胞性非ホジキンリンパ腫（B-NHL）を対象としたツジジノスタットとリツキシマブ併用の第1b/II相試験	1-2	ツジジノスタット	R/R B-NHL患者を対象として、リツキシマブ併用投与時のツジジノスタットに関する安全性及び忍容性、有効性を評価する。	終了
アヅビ合同会社	急性骨髄性白血病	2020年2月3日	jRCT2080225048	同種幹細胞移植後の急性骨髄性白血病患者を対象としてベネトクラクスとアザシチジンの併用投与の安全性及び有効性を評価する無作為化、非盲検第III相試験（VIALE-T）[M19-063]	3	ABT-199、支持療法	本試験の主要目的は、AML患者の無再発生存期間（以下、「RFS」）の改善におけるベネトクラクスとアザシチジンの併用投与の有効性を評価することである。同種幹細胞移植（SCT）後に維持療法として投与した場合の支持療法（BSC）と比較する。本試験は2つのパートで構成され、パート1（用量確認パート）には18歳以上の患者を登録する。パート2（無作為化パート）には12歳以上の患者を登録する。パート1では、ベネトクラクスとアザシチジンの併用投与時の第III相試験推奨用量を決定し、パート2ではベネトクラクスとアザシチジン併用投与時（パート2のA群）の有効性及び安全性をBSC（パート2のB群）と比較する。	終了

領域12【白血病、悪性リンパ腫】などの血液・リンパのがん

2025/4/11現在

治験依頼者	対象疾患名	公開年月日	臨床試験ID	治験名	治験のフェーズ	治験成分記号（治験薬一般名）	研究・治験の目的	実施状況
アッヴィ合同会社	骨髄線維症	2021年6月9日	JRCT2011210016	骨髄線維症：Navitoclax とルキンチニブの併用投与と利用可能な最良の治療を比較する第III 相試験[M20-178]	3	Navitoxlax	MF 被験者を対象にNavitoclax とルキンチニブを併用投与したときの安全性と脾腫容積の変化を、ルキンチニブ単剤投与と比較評価することである。	終了
アッヴィ合同会社	びまん性大細胞型B 細胞リンパ腫（DLBCL）	2023年2月9日	JRCT2021220043	初発のびまん性大細胞型B 細胞リンパ腫（DLBCL）患者を対象としたエプロリタマブの第III相試験	3	エプロリタマブ	本治験の主目的は、初発のDLBCL 患者を対象として、エプロリタマブ+ R-CHOP 併用投与したときの有効性及び安全性を、R-CHOP投与と比較評価することである。	終了
アッヴィ合同会社	B細胞性非ホジキンリンパ腫	2023年3月14日	JRCT2011220044	非ホジキンリンパ腫被験者を対象に、epcoritamab を抗腫瘍薬と併用したときの安全性及び忍容性を評価する第Ib/II 相非盲検試験[M22-132]	1-2	ABBV-GMAB-3013（エプロリタマブ）	B 細胞性NHL 患者を対象に、エプロリタマブ と新規抗腫瘍薬との新規併用療法の安全性及び忍容性を評価する。	終了
IQVIAサービシーズジャパン合同会社	マンデル細胞リンパ腫	2021年8月13日	JRCT2021210026	マンデル細胞リンパ腫患者を対象としたLOXO-305の第3相試験	3	LOXO-305	前治療歴のあるマンデル細胞リンパ腫患者を対象としてLOXO-305の有効性及び安全性を検討する	終了
サノフィ株式会社	再発性又は難治性の多発性骨髄腫	2023年3月27日	JRCT2031220739	再発性及び／又は難治性多発性骨髄腫の成人患者を対象としたカルフィルゾミブ及びデキサメタゾンとの併用でのイサツキシマブの皮下投与を検討する試験	2	イサツキシマブ、カルフィルゾミブ、デキサメタゾン、デキサメタゾン IV	本治験の目的は、1～3ラインの前治療歴を有する難治性多発性骨髄腫（RRMM）成人患者を対象とした、カルフィルゾミブ及びデキサメタゾンとの併用でのイサツキシマブ皮下（SC）投与の有効性（骨髄腫の奏効）を評価することである。手動によるイサツキシマブSC投与の実現可能性が確認された後、患者はイサツキシマブSC投与の2つの投与方法のうち1つに無作為に割り付けられる。	終了
大塚製薬株式会社	再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫	2019年6月6日	JRCT2080224718	再発又は難治性のDLBCL患者を対象としたOPB-111077のベンダムスチン、リツキシマブとの併用による第1相試験	1	OPB-111077	主目的： 再発又は難治性のDLBCL患者に対するOPB-111077とベンダムスチン及びリツキシマブの併用療法の忍容性及び安全性を評価する。 -用量漸増ステージ- 1.OPB-111077及びベンダムスチン併用時の安全性及び忍容性を検討する。 2.ベンダムスチン併用時のOPB-111077の推奨用量を決定する。 -用量拡大ステージ- OPB-111077、ベンダムスチン及びリツキシマブの3剤併用時の安全性を検討する。 副次的目的： 1.OPB-111077（代謝物含む）及びベンダムスチンの薬物動態を検討する。 2.抗腫瘍効果を検討する。 探索的目的： DLBCL関連バイオマーカーを探索的に検討する。	終了
グラクソ・スミスクライン株式会社	多発性骨髄腫	2023年9月12日	JRCT2061230056	再発・難治性多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象としたベランタマブ マホドチン（GSK2857916）の単剤療法及び抗がん剤との併用療法をマスタープロトコルを用いて検討する。第I/II 相、無作為化、非盲検、プラットフォーム試験 - DREAMM 5	1-2	ベランタマブ マホドチン、Nirogacestat、レナリドミド、デキサメタゾン	B細胞成熟抗原（BCMA）は、多発性骨髄腫患者の腫瘍細胞上に存在する標的である。ベランタマブ マホドチン（GSK2857916）は、ヒト化抗BCMAモノクローナル抗体（mAb）を含む抗体薬物複合体（ADC）である。本試験は、再発・難治性の多発性骨髄腫患者を対象に、ベランタマブ マホドチン と他の抗がん剤との併用効果の評価のためにデザインされたプラットフォーム試験である。本プラットフォーム試験では、1 つのマスタープロトコルを用いて、複数の治療法の併用をサブスタディとして同時に評価する。	終了